

# 心ゆたかに



小中一貫教育目標「自分らしくともに かがやく」 重点目標「自分のコトバを とどけよう」

【美しい光が ふじの山を包むよるこびは  
みらいを生きる力 夢と希望をポケットに入れて】

東の空が紅に染まった1月5日の朝、登校する子どもたちから「おはようございます。」「あけましておめでとうございます。」「今年もよろしくお祈りします。」「ハッピーニューイヤー！」など、元気な声と笑顔が届きました。

大混乱の日本の年明けですが、「あけましておめでとう」とお祝いし合えることを、改めてありがたいことだと感じます。厳寒と断水の中、学校再開の見通しが立たない被災地の子どもたちに心を寄せながら、今ある当たり前前に感謝し、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様と共に、前を向いて進んで行きたいと思えます。11月に「富士見台小学校地区防災教育連絡会議」が本校で開催され、学校が避難所となった場合の対応等について協議しました。「災間」を生きる私たちは、これからも防災の意識を高めていきたいと思えます。

12月に、地域の方を講師としてお招きし、3年生以上の子どもたちが書き初めに挑戦しました。体育館いっぱい静かに広がる墨の香り。程よい緊張感の中、講師の方の丁寧で的確な指導の下、子どもたちは心を澄ませて一画一画に気持ちを込めました。冬休み明け、学校に届いた書き初めの言葉は、力強く、そして温かく、新しい年を祝福しています。

「1年生 みらい」 「2年生 よるこび」 「3年生 ふじの山」  
「4年生 生きる力」 「5年生 美しい光」 「6年生 夢と希望」



廊下には、書き初めの他にも新年の抱負や絵馬の掲示が輝いています。子どもたちは「健康な一年にしたい」「たくさん運動をする」「だれにでもあいさつできるようにがんばる」「なににごともチャレンジする」「たくさんの人となかよくする」「委員会活動を頑張りたい」「学校のリーダーとして努力する」などと書き込み、その前向きな言葉に頼もしさを感じました。私たち大人も、子どもたちに負けないように、そして子どもたちと共に力を合わせ、未来を創っていききたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様、今年もよろしくお祈りいたします。

校長 四條 秀樹

## 「富士見台カルタ大会」開催！

3年生がちえのお学習で作成した「富士見台カルタ」を、サポーターの皆さんに披露しました。子どもならではの感性で富士見台地区を表現しており、その面白さをサポーターさんも感じながらカルタを楽しみました。

3年生は他学年の子どもたちと対決したり、1セットをまちづくりセンターに寄贈したりするなど、学習の成果を広く発信しています。

